



救いの「手」

21日、地滑り被災地のフィリピン中部レイテ島のセントバーナードで、日本の国際NGO「AMDA」のメンバー5人が医療支援活動を始めた。避難所となった高校では、消毒薬などの薬品がそろっていないため、看護師の竹内美妃さん（33）は、ミネラルウォーターで少女の傷口を洗い流していた。加藤丈朗撮影